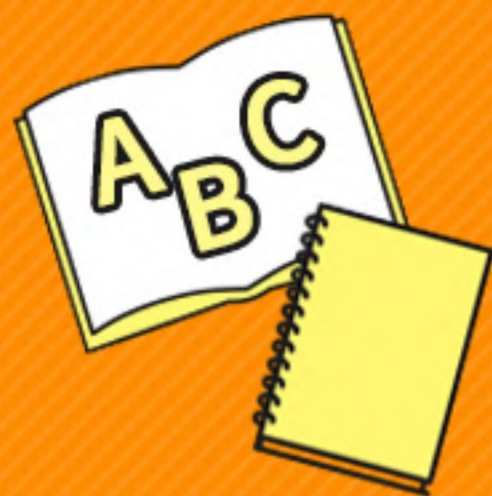


大人の英語やり直し



たった7日間で 中学3年分の の英語をまるまる 復習できる本

「英語難民」を救済するエキスパート

田邊竜彦



英語を話せるようになるには
基礎が第一!

練習問題
+
解説つき

- ☑ 英語未経験者～初心者の方専用
- ☑ 全20ユニットの解説でバッチリわかる
- ☑ 読む×聞く×書く×話すの全技能に対応

～はじめに～

英語を学んでいる方に会った時、その方のレベルをもっとも端的に知る方法、それは「**(英語に関して) 何を一番の課題に感じているか**」を聞くことです。

例えば、「**英語に興味を持っているけれど、やり方がわからない**」と仰るのであれば、その方はおそらく、英語未経験者、あるいは初学者の可能性が高いと言えます。

他方、「**単語はおおよそわかるけれど、発音、特に子音が苦手...**」と仰るなら、その方はある程度の経験を積んでいると考えると、差し支えないでしょう。

言ってみれば、日本語母語話者が英語を学ぶ上で、**成長の仕方にはある程度の規則性があるのではないか...**これが、私がこれまで、1,000人以上の方に英語学習指導をして考えた、1つの仮説です。

成長の仕方に規則性があるということは、逆に言えば、**何をどのタイミングで行えば効果が出るのか、ある程度の予測ができる**ことを指します。

学習進捗が予測できれば、適切なタイミングで最適な学習法を助言できるので、学習者にとっても、成功確率が上がるわけです。

それでは、「**英語を話せるようになりたい**」、あるいは「**海外映画やニュースなどを字幕なしでおおよそ、理解できるようになりたい**」といった目標に対して、必要な学習法とは何でしょうか？

複数のトレーニングが当然、挙げられますが、1つの答えに「**基礎英語を学び直すこと**」があります。

話すことも、聞くことも、英語という共通のことばが使われる以上、ことばの仕組みを知ることが、何よりも重要と言って、間違いないでしょう。

しかしながら、基礎英語を学び直すと言っても、最適な方法を見つけるのは簡単ではありません。

あなたは、次のような悩みを持っていませんか？

- やり直し英語の本を探しても、たくさんありすぎて、**何を使えばいいかわからない...**
- ブログや動画共有サイトでおすすめの本を買ったものの、**いかにも受験英語という感じで自分の求めていたものと違った...**
- 評判の良い参考書を買ったが、物凄く分厚い本で、**とても読み切れそうもない...**

お気持ちはとてもよくわかります。私もかつて、大人になってから英語を学び直した際、色々な参考書を試しては、失敗と挫折を繰り返しました。

そこで、英語を指導する立場に立った今、「**英語初心者の方が “はじめてやりきれた！”** と思えるような、本当の意味で入門者向けの**基礎英語の本を作りたい**」と考えたのが、本書を執筆したきっかけです。

本書の題名は『**たった7日間で中学3年分の英語をまるまる復習できる本**』です。

私たちにとって、基礎英語とははじめて英語を学んだ体験、すなわち「**中学英語**」にほかなりません。

中学3年間で学ぶ英語のエッセンスを取り出し、短く、そしてわかりやすくまとめました。

副題には『**大人の英語やり直し**』も入れました。本書が**受験参考書**ではなく、**大人世代の方が英語に再挑戦するため、使ってほしい**という願いを込めたからです。

本書の内容を簡単に紹介しましょう。

Day1は**be動詞**を学習します。be動詞は、英語の動詞の中でももっとも基本的な要素です。be動詞を学ぶことで、簡単な肯定文、否定文、疑問文を作れるようになります。

Day2は**一般動詞**を学びます。be動詞以外の動詞の仕組みがわかり、doやdoesを使った否定文、疑問文が作れます。

Day3は**時制**です。とりわけ、英語で重要な現在進行形、過去形、そして未来の表現を学びます。ここまでするだけで、英語の単純な文を理解できるでしょう。

Day4は**助動詞**と**命令文**です。can, may, could などの意味を学びます。命令文は日常会話でもよく使うので、母語話者のニュアンスがつかめるようになるでしょう。

Day5は**名詞**、**冠詞**、**代名詞**です。日本語話者の苦手とする可算名詞と不可算名詞の違いなど、わかるようになります。

Day6は**形容詞**と**副詞**です。これらは文に様々な意味を追加する要素であり、表現の幅が広がります。

Day7は**前置詞**、**接続詞**、**関係代名詞**です。これらを使えば、より複雑な文を作れるに違いありません。

初心者の方が抵抗なく英語に取り組み
るようにするにはどうすればいいか考え
た結果、本書は「**最低限の説明+ドリル
形式**」を採用しました。

**日本語による長々とした説明を読むよ
り、英語による設問を問いたほうが身に
つきますし、何より実践的で、楽しさを
感じられるから**です。

各設問は選択問題ほか、簡単な英作文
問題等を用意しました。解答を用意して
いるので、すぐに答え合わせをして、先
に進められます。語注もあるので、知ら
ない単語を辞書で引く手間もありません。
ん。

学習のコツとして、**100%の正答率を**
求めるのではなく、ある程度の理解で良
いので、どんどん先に進むようにしま
しょう！

わからない箇所は後からでも復習でき
るので、先に進んで全体像を理解するほ
うが、結果として効率的に学習できま
す。

本書はスマートフォンでも見やすいよ
う、文字を大きめに設定しました。通
勤、通学、家事、介護等の合間にご活用
ください。

本編に入る前、最後に1つだけ、どうしてもお伝えしたいことがあります。

かつて、私が運営する英語塾に「**勉強しなくても、英語を聞き流すだけで、誰でも簡単に英語がペラペラになれる**」という教材に、百万円近いお金を払ったものの、まったく成果が出ず、困っている方が来られました。

私の個人指導を受講した結果、英語ができると胸を張って言えるレベルに成長したのですが、その方が受講後、次のようなことを語っていました。

「**英語ができるようになるには、やっぱり基礎が大事なんですね。こうして基礎英語の重要性に気がついただけでも、英語力成長の証かもしれません。」**

冒頭、私は“**英語に対して何を課題に感じているかが、その方のレベルを端的にあらわします”**といったようなことを、申し上げました。

この受講者様と同じように、基礎英語の重要性に気がつき、本書を手にとっている時点で、あなたは英語習得において、一歩進んだ段階にいるのです。

トイグルEnglish

田邊竜彦

～目次～

Day1: まずはbe動詞からやり直そう！

Unit1. be動詞を使った肯定文

Unit2. be動詞を使った否定文

Unit3. be動詞を使った疑問文

Day2: 一般動詞がわかれば表現力が広がる！

Unit4. 一般動詞を使った肯定文

Unit5. 一般動詞を使った否定文

Unit6. 一般動詞を使った疑問文

Day3: 時制と未来の表現を使えるようにしよう！

Unit7. 現在進行形

Unit8. 過去形

Unit9. 未来の表現

Day4: 助動詞と命令文について知ろう！

Unit10. 助動詞

Unit11. 命令文

Day5: 名詞, 冠詞, 代名詞で英語の本質を知る！

Unit12. 名詞

Unit13. 冠詞

Unit14. 代名詞

Day6: 形容詞と副詞で彩りのある文に！

Unit15. 形容詞

Unit16. 副詞

Unit17. 比較構文

Day7: 前置詞, 接続詞, 関係代名詞でより濃い文を作る！

Unit18. 前置詞

Unit19. 接続詞

Unit20. 関係代名詞

(学校の学習指導要領は逐一変わるので、本書の指す中学英語とは、厳密な意味で、いま学校で習う内容を指すわけではありません。大人世代の方が、かつての中学英語で習ったであろう内容を復習できるものとしてお考えください。)

(本書は知識の伝達を目的に作られたものです。成果を保証するものではありません。

本書の一部、またはすべてを無断で転載することを禁じます。)

Day1

まずはbe動詞から
やり直そう！



Unit1. be動詞を使った肯定文

be動詞（「びーどうし」と読みます）は、「...です」の意味で使われる動詞です。be動詞は主語のタイプによって、異なる形に変わります。

主語が単数形の場合

主語のタイプ	be動詞の形	短縮形
I (私は)	am	I'm
You (あなたは)	are	You're
He (彼は) / She (彼女は) / It (それは), その他	is	He's / She's / It's

主語が複数形の場合

主語のタイプ	be動詞の形	短縮形
We (私たちは)	are	We're
You (あなたたちは)	are	You're
They (彼らは, 彼女らは, それらは), その他	are	They're

～練習問題～

Q1. 主語に合う be動詞の形を答えましょう。
(am, is, are のいずれかを使用)

1. We _____
2. I _____
3. She _____
4. It _____
5. They _____

Q2. am, is, are のいずれかを入れて
文を完成させましょう。

1. It ___ as hot as yesterday.
2. They ___ my sisters.
3. His name ___ John Smith.
4. You ___ the same age as my brother.
5. “Are you happy?” “Yes, I ___.”

語注: hot (暑い), yesterday (昨日)
sister (姉, 妹), same (同じ), age (年齢)

\解答はこちら／

Q1

1. are
2. am
3. is
4. is
5. are

Q2.

1. It **is** as hot as yesterday.
(今日は昨日と同じくらい暑い)
2. They **are** my sisters.
(彼女らは私の姉妹たちです)
3. His name **is** John Smith.
(彼の名前はジョン・スミスです)
4. You **are** the same age as my brother.
(あなたは私の兄と同じ年齢です)
5. “Are you happy?” “Yes, I **am**.”
(「幸せですか」「はい、幸せです」)

Unit2. be動詞を使った否定文

英語で「...でない」をあらわす文を否定文と呼びます。be動詞を使った文では、be動詞に not をつけることで、否定文を作ります。

主語が単数形の場合

主語のタイプ	be動詞の形	短縮形
I (私は)	am not	I'm not
You (あなたは)	are not	You're not
He (彼は) / She (彼女は) / It (それは), その他	is not	He's / She's / It's not

主語が複数形の場合

主語のタイプ	be動詞の形	短縮形
We (私たちは)	are not	We aren't
You (あなたたちは)	are not	You aren't
They (彼らは, 彼女らは, それらは), その他	are not	They aren't

～練習問題～

Q1. 空白に適した語を入れましょう。
(be動詞は am, is, are のいずれかを使用)

1. They're not = They ____ not
2. I'm not = I ____ not
3. ____ not = We are not
4. ____ not = She is not

Q2. am, is, are, not のいずれかを
入れて文を完成させましょう。

1. She is ____ the owner of this house.
2. I ____ not good at cooking.
3. It's ____ cold today.
4. “Are these shoes yours?”
“No, they ____ .”

\解答はこちら／

Q1

1. are
2. am
3. We're
4. She's

Q2

1. She is **not** the owner of this house.
(彼女はこの家の所有者ではありません)
2. I **am** not good at cooking.
(私は料理が上手ではありません)
3. It's **not** cold today.
(今日は寒くありません)
4. "Are these shoes yours?"
"No, they **are not**."
(「あなたの靴ですか」
「いいえ、違います」)

Unit3. be動詞を使った疑問文

疑問文とは、「...ですか？」の意味で、何かを尋ねる際に使う形です。be動詞の疑問文は、主語とbe動詞をひっくり返すことで作ります。会話では語尾を上げ調子にします。書き言葉では文末に「？」をつけます。

主語が単数形の場合

主語のタイプ	疑問文の形
I (私は)	Am I ...?
You (あなたは)	Are you...?
He (彼は) / She (彼女は) / It (それは)	Is he...? / Is she ...? / Is it ...?

主語が複数形の場合

主語のタイプ	疑問文の形
We (私たちは)	Are we ...?
You (あなたたちは)	Are you...?
They (彼らは, 彼女らは, それらは)	Are they...?

～練習問題～

Q1. 空白に適した be動詞の形を答えましょう。
(am, is, are のいずれかを使用)

1. ___ I ...?
2. ___ you ... ?
3. ___ they ...?
4. ___ it ...?

Q2. am, is, are のいずれかを入れて文を完成させましょう。

1. ___ you sure?
2. ___ I correct?
3. ___ that true?
4. ___ you all right?
5. ___ she your mother?

\解答はこちら／

Q1

1. Am
2. Are
3. Are
4. Is

Q2

1. **Are you sure?**
(本当ですか)
2. **Am I correct?**
(合っていますか)
3. **Is that true?**
(それは本当ですか)
4. **Are you all right?**
(だいじょうぶですか)
5. **Is she your mother?**
(彼女はあなたのお母さんですか)

Day2

一般動詞がわかれば
表現力が広がる！



Unit4. 一般動詞を使った肯定文

be動詞以外の動詞を一般動詞と呼びます。一般動詞の文では、主語が三人称 (= 「私」 や 「あなた」 以外の場合)、単数形 (=ひとりあるいはひとつ)、かつ文の時制が現在形の時、動詞の語尾に s (またはes等) をつけます。これを三単現のs と言います。

主語が単数形の場合

主語のタイプ	疑問文の形
I (私は)	I work...
You (あなたは)	You work...
He (彼は) / She (彼女は) / It (それは)	He works... / She works... / It works...

主語が複数形の場合

主語のタイプ	疑問文の形
We (私たちは)	We work...
You (あなたたちは)	You work...
They (彼らは, 彼女らは, それらは)	They work...

～練習問題～

Q1. 動詞eat (...を食べる) の適切な形を入れましょう。

1. I ____ ...
2. They ____...
3. He ____...
4. You ____...
5. She ____...

Q2. 空白の中に適切な動詞を選んで入れましょう。
必要があれば、三単現のsをつけましょう。

1. I ____ pizza every day.
2. She ____ two cups of coffee a day.
3. They ____ in Hokkaido.
4. He ____ for a bank.

live, work, eat, drink

\解答はこちら／

1. I eat...
2. They eat...
3. He eats...
4. You eat...
5. She eats...

Q2

1. I **eat** pizza every day.
(毎日ピザを食べます)
2. She **drinks** two cups of coffee a day.
(彼女は1日に2杯のコーヒーを飲む)
3. They **live** in Hokkaido.
(彼らは北海道に住んでいる)
4. He **works** for a bank.
(彼は銀行に勤めている)

Unit5. 一般動詞を使った否定文

一般動詞を使った文を否定文にする場合、動詞の前に do あるいは does を出現させ、それに not をつけます。

主語が単数形の場合

主語のタイプ	否定文の形	短縮形
I (私は)	I do not work ...	I don't work ...
You (あなたは)	You do not work...	You don't work ...
He (彼は) / She (彼女は) / It (それは)	He does not work... / She does not work... / It does not work...	He doesn't work ... / She doesn't work ... / It doesn't work ...

主語が複数形の場合

主語のタイプ	否定文の形	短縮形
We (私たちは)	We do not work ...	We don't work ...
You (あなたたちは)	You do not work ...	You don't work ...
They (彼らは, 彼女らは, それらは)	They do not work...	They don't work ...

～練習問題～

Q1. do または does を入れて否定文を作りましょう。

1. She ___ not go ...
2. I ___ not want to ...
3. They ___ not like ...

Q2. 日本語訳を手がかりに、空白の中に適切な動詞を選んで入れましょう。

1. I don't usually ___ a bag.
(私はたいてい鞆を持たない)
2. He doesn't ___ tomatoes.
(彼はトマトが好きではない)
3. They don't ___ how to use dictionaries.
(彼らは辞書の使い方を知らない)

like, carry, know

\ 解答はこちら /

1. She does not go ...
2. I do not want to ...
3. They do not like ...

Q2

1. I don't usually **carry** a bag.
(私はたいてい鞆を持たない)
2. He doesn't **like** tomatoes.
(彼はトマトが好きではない)
3. They don't **know** how to use dictionaries.
(彼らは辞書の使い方を知らない)

Unit6. 一般動詞を使った疑問文

一般動詞の疑問文では、do あるいは does を文頭、その後は主語、動詞の順に並べることで疑問文を作ります。会話では語尾を上げ調子にします。書き言葉では語尾に「?」をつけます。

主語が単数形の場合

主語のタイプ	疑問文の形
I (私は)	Do I need...?
You (あなたは)	Do you need...?
He (彼は) / She (彼女は) / It (それは)	Does he need...? / Does she need...? / Does it need ...?

主語が複数形の場合

主語のタイプ	疑問文の形
We (私たちは)	Do we need ...?
You (あなたたちは)	Do you need ...?
They (彼らは, 彼女らは, それらは)	Do they need...?

～練習問題～

Q1. Do あるいは Does を入れて疑問文を作りましょう。

1. ___ you like...?
2. ___ she have...?
3. ___ I have to ...?
4. ___ we go ...?
5. ___ it cost...?

Q2. 日本語訳を手がかりに、空白の中に適切な動詞を選んで入れましょう。

1. Do you ___ a cup of tea?
(紅茶はいりますか)
2. Does it ___ so often?
(それはそんなに起こるんですか)
3. Do I ___ to tell you everything?
(あなたにすべて話す必要があるんですか)
4. Do you ___ about the day?
(その日のことを覚えていますか)

remember, need, happen, want

\解答はこちら／

Q1

1. Do
2. Does
3. Do
4. Do
5. Does

Q2

1. Do you **want** a cup of tea?
(紅茶はいりますか)
2. Does it **happen** so often?
(それはそんなに起こるんですか)
3. Do I **need** to tell you everything?
(あなたにすべて話す必要があるんですか)
4. Do you **remember** about the day?
(その日のことを覚えていますか)

Day3

時制と未来の表現を
使えるようにしよう！



Unit7. 現在進行形

今まさに起きている出来事をあらわす場合、現在進行形を使います。現在進行形は、文の述語動詞の形を“be+動詞のing形”にすることで作ります。

主語が単数形の場合

主語のタイプ	現在進行形の形	短縮形
I (私は)	I am working ...	I'm working ...
You (あなたは)	You are working ...	You're working ...
He (彼は) / She (彼女は) / It (それは)	He is working ... / She is working ... / It is working ...	He's working ... / She's working ... / It's working...

主語が複数形の場合

主語のタイプ	現在進行形の形	短縮形
We (私たちは)	We are working ...	We're working ...
You (あなたたちは)	You are working ...	You're working ...
They (彼らは, 彼女らは, それらは)	They are working ...	They're working ...

～練習問題～

Q1. 動詞の形を変えて現在進行形を作しましょう。

1. They walk ...
2. He talk ...
3. I live ...

Q2. 日本語訳を手がかりに、空白の中に適切な動詞を選んで入れましょう。
文はいずれも現在進行形になります。

1. She ____ a shower.
(彼女はシャワーを浴びている)
2. They ____ TV.
(彼らはテレビを観ている)
3. I ____ you the truth.
(真実を述べています)
4. He ____ on the beach.
(彼は海岸を歩いている)

walk, watch, take, tell

\解答はこちら／

Q1.

1. walk ...

2. talk ...

3. live ...

1. **She is taking** a shower.

(彼女はシャワーを浴びている)

2. **They are watching** TV.

(彼らはテレビを観ている)

3. **I am telling** you the truth.

(真実を述べています)

4. **He is walking** on the beach.

(彼は海岸を歩いている)

注: 実際の会話では、She's taking ...

のように、短縮形の使用が一般的です。

Unit8. 過去形

過去の出来事をあらわすには、過去形を使います。過去形には、動詞の語尾に **-ed** をつける規則変化動詞と、それ以外の形に変わる不規則変化動詞があります。

規則変化動詞の作り方

原形	過去形の形
work	worked

不規則変化動詞の作り方 (例)

原形	過去形の形
eat	ate
meet	met
cut	cut

不規則変化動詞は他にもたくさん種類があります。
一覧はトイグルの別記事をご覧ください。

※英語の不規則変化動詞一覧

<https://toiguru.jp/irregular-verbs>

～練習問題～

Q1. 次の動詞を過去形にしましょう。

1. walk → ...
2. push → ...
3. like → ...

Q2. 日本語訳を手がかりに、空白の中に適切な動詞を選んで入れましょう。
文はいずれも過去形になります。

1. I ___ to work with you.
(あなたと働きたかった)
2. I ___ a bus to London.
(バスでロンドンに行った)
3. She ___ at me.
(彼女は私を見た)

take, look, want

\解答はこちら／

1. walked
2. pushed
3. liked

1. I **wanted** to work with you.
(あなたと働きたかった)
2. I **took** a bus to London.
(バスでロンドンに行った)
3. She **looked** at me.
(彼女は私を見た)

Unit9.未来の表現

英語で未来をあらわすには、will または be going to を使います。will を使った表現が普通ですが、未来の出来事の予兆が既にあらわれているような場合、be going to を使用します。

* will の使い方

主語のタイプ	動詞の形
I / We	will work
You	will work
He (She, It) / They	will work

* be going to の使い方

主語のタイプ	動詞の形
I / We	am/are going to work
You	are going to work
He (She, It) / They	is/are going to work

～練習問題～

Q1. be going to の適切な形を選びましょう。
(すべて現在時制です)

1. We ___ going to ...
2. He ___ going to ...
3. You and I ___ going to ...

Q2. 日本語訳を手がかりに、適切な動詞を
選んで文を完成させましょう

1. It's going to ____ .
(雨が降りそうだ)
2. I'll ____ in Tokyo next month.
(来月は東京にいます)
3. The race is going to ____ .
(レースが始まります)
4. I'll ____ you back later.
(あとでかけ直します)

be, call, start, rain

\解答はこちら／

Q1.

1. are
2. is
3. are

Q2.

1. It's going to **rain**.
(雨が降りそうだ)
2. I'll **be** in Tokyo next month.
(来月は東京にいます)
3. The race is going to **start**.
(レースが始まります)
4. I'll **call** you back later.
(あとでかけ直します)

Day4

助動詞と命令文
について知ろう！



Unit10. 助動詞

助動詞とは、can や will に代表される語を指します。「...かもしれない」や「...に違いない」など、話し手の心的態度を示します。助動詞は述語動詞の前に置きます。助動詞の直後の動詞は必ず原形になります。

can	...できる
could	...できた
may	...かもしれない
might	(ひょっとすると) ...かもしれない
must	...しなければならない
will	...だろう
would	...したものだ
should	...すべきである

～練習問題～

Q1. 日本語訳を手がかりに、空白に適した助動詞を選んで入れましょう。

1. John ___ speak English.
(ジョンは英語を話せます)
2. I ___ call you tonight.
(今晚電話します)
3. You ___ take a few days off.
(2, 3日の休暇をとるといいですよ)
4. That _____ be true.
(それは正しいかもしれない)

should, may, will, can

Q2. 日本語訳を手がかりに、空白に適した助動詞を選んで入れましょう。

1. He _____ know the answer.
(彼は答えを知っているかもしれない)
2. I _____ often go to the beach when I was a child.
(子供の頃はよくビーチに行ったものだ)
3. He _____ swim very well when he was young.
(彼は若かった頃、上手に泳げた)
4. I _____ finish my homework today.
(今日は宿題を終えなければならない)

could, must, might, would

\解答はこちら／

Q1.

1. John **can** speak English.
(ジョンは英語を話せます)
2. I **will** call you tonight.
(今晚電話します)
3. You **should** take a few days off.
(2, 3日の休暇をとるといいですよ)
4. That **may** be true.
(それは正しいかもしれない)

Q2.

1. He **might** know the answer.
(彼は答えを知っているかもしれない)
2. I **would** often go to the beach when I was a child.
(子供の頃はよくビーチに行ったものだ)
3. He **could** swim very well when he was young.
(彼は若かった頃、上手に泳げた)
4. I **must** finish my homework today.
(今日は宿題を終えなければならない)

Unit11. 命令文

命令文とは、相手に何かを命令する際に使う用法です。他にも、相手をお願いしたり、すすめたりする際に使います。命令文では、文の主語を省略して、動詞の原形で文を始めます。

文のタイプ	動詞の形
肯定文	Open it.
否定文	Don't open it.

～練習問題～

Q1. 日本語訳を手がかりに、空白に適切な動詞を入れて文を作りましょう。文はすべて命令文になります。

1. Don't ____! (動くな！)
2. ____ the window. (窓を閉じてください)
3. ____ careful. (注意してください)

close, be, move

Q2. 日本語訳を手がかりに、空白に適切な動詞を入れて文を作りましょう。文はすべて命令文になります。

1. ____ a nice day. (良い一日を)
2. ____ the party. (パーティーを楽しんでね)
3. ____ yourself. (ご自由にどうぞ)

enjoy, help, have

\解答はこちら／

Q1.

1. **Don't move!** (動くな！)
2. **Close** the window. (窓を閉めてください)
3. **Be** careful. (注意してね)

Q2.

1. **Have** a nice day. (良い一日を！)
2. **Enjoy** the party. (パーティーを楽しんでね)
3. **Help** yourself. (ご自由にどうぞ)

Day5

名詞, 冠詞, 代名詞で
英語の本質を知る!



Unit12. 名詞

名詞とは、人・物・事などの名を表す語です。英語では、book（本）のように、1つ、2つと数えられる名詞と、air（空気）のように数えられない名詞を区別します。

数えられる名詞は1つ（1人）をあらわす単数形と、2つ（2人）以上をあらわす複数形があります。数えられる名詞の単数形には a/an、複数形には名詞の語尾に -s (-es) をつけます。

数えられない名詞は、常に単数形として使用します。ただし、a/anは用いず、そのままの形で使います。

可算名詞	単数形	a book (<1冊の> 本)
	複数形	books (<複数冊の> 本)
不可算名詞	air (空気)	

～練習問題～

Q1. 次の名詞は、数えられる名詞と数えられない名詞のどちらでしょうか

1. family
2. gold
3. happiness
4. child
5. ice

Q2. 日本語訳を手がかりに、適切な名詞を選びましょう。
必要があれば、名詞を適切な形に変化させてください。

1. John is a _____ of mine.
(ジョンは友人の1人です)
2. Dolphins are intelligent _____.
(イルカは知的な動物です)
3. My father is a taxi _____.
(私の父はタクシー運転手です)
4. _____ is basic to the Japanese diet.
(米は日本で基本となる食事です)

driver, animal, friend, rice

＼解答はこちら／

Q1.

1. family (数えられる名詞)
2. gold (数えられない名詞)
3. happiness (数えられない名詞)
4. child (数えられる名詞)
5. ice (数えられない名詞)

Q2.

1. John is a **friend** of mine.
(ジョンは友人の1人です)
2. Dolphins are intelligent **animals**.
(イルカは知的な動物です)
3. My father is a taxi **driver**.
(私の父はタクシー運転手です)
4. **Rice** is basic to the Japanese diet.
(米は日本で基本となる食事です)

Unit13. 冠詞

冠詞とは、a/an や the に代表される語を指します。数えられる名詞の単数形には a/an をつけます。aは子音の前、anは母音の前に使います。

数えられる、数えられないに関わらず、「その」のように特定できれば、the をつけます。

※ a/an の使い方

子音の前	a book
母音の前	an apple

※ the の使い方

不特定のモノの場合	a chair (1つの椅子)
特定のモノの場合	the chair (その椅子)

～練習問題～

Q1. aとanのいずれか正しいものを選びましょう。

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. ___ pen | 4. ___ ring |
| 2. ___ example | 5. ___ university |
| 3. ___ table | |

Q2. 日本語訳を手がかりに、適切な冠詞を選んで文を完成させましょう。

1. I bought ___ smartphone yesterday.
(<1台のある> スマートフォンを昨日、買いました)
2. ___ sun rises in the east.
(太陽は東から昇る)
3. There is ___ clock on the wall.
(壁に <1つのある> 時計がかかっています)
4. I'll call you in ___ hour.
(1時間後に電話しますね)

a, an, the

\解答はこちら／

Q1.

1. a pen
2. an example
3. a table
4. a ring
5. an university

Q2.

1. I bought **a** smartphone yesterday.
(<1台のある> スマートフォンを昨日、買いました)
2. **The** sun rises in the east.
(太陽は東から昇る)
3. There is **a** clock on the wall.
(壁に <1つのある> 時計がかかっています)
4. I'll call you in **an** hour.
(1時間後に電話しますね)

Unit14. 代名詞

代名詞とは、名詞の代わりになる語です。たとえば、1人の男性は He (彼は)、1人の女性は She (彼女は) のように言います。

代名詞は文中の位置によって形が変化します。主語の位置を主格、目的語の位置を目的格と言います。また、my book (私の本) のように名詞の直前に置かれるものを所有格と言います。

		主格	所有格	目的格	
単数	1人称	I	my	me	
	2人称	you	your	you	
	3人称	男性	he	his	him
		女性	she	her	her
中性		it	its	it	
複数	1人称	we	our	us	
	2人称	you	your	you	
	3人称	they	their	them	

～練習問題～

Q1. 代名詞を適切な形に変化させましょう。

1. It's I/me/my book.
(それは私の本です)
2. They/Them/Their know each other.
(彼らは顔見知りです)
3. Do you/your usually eat breakfast?
(朝ごはんは食べますか)
4. I/me/my am Ken.
(私はケンです)

Q2. 日本語訳を手がかりに、適切な代名詞を選んで、
文を完成させましょう。

1. I met ___ yesterday.
(彼に昨日会った)
2. ___ is an artist.
(彼女は芸術家です)
3. Is he ___ brother?
(彼はあなたの兄ですか)
4. ___ know the rules.
(彼らはルールを知っている)
5. I found ___ wallet.
(私の財布を見つけた)

my, your, she, they, him

\ 解答はこちら /

Q1.

1. It's my book.
(それは私の本です)
2. They know each other.
(彼らは顔見知りです)
3. Do you usually eat breakfast?
(朝ごはんは食べますか)
4. I am Ken.
(私はケンです)

Q2.

1. I met **him** yesterday.
(彼に昨日会った)
2. **She** is an artist.
(彼女は芸術家です)
3. Is he **your** brother?
(彼はあなたの兄ですか)
4. **They** know the rules.
(彼らはルールを知っている)
5. I found **my** wallet.
(私の財布を見つけた)

Day6

形容詞と副詞で
彩りのある文に！



Unit15. 形容詞

形容詞とは、名詞や代名詞に意味を付け加える語です。例えば、a good idea（良いアイディア）では、good（良い）が idea（アイディア）と述べています。逆に、a bad idea（悪いアイディア）は、bad（悪い）の意味が付け加えられています。

形容詞は a good idea（良いアイディア）のように名詞の前に置く場合と、He is good at art.（彼は絵がうまい）のように、be動詞の後ろに置く場合があります。

*形容詞の位置

名詞の前	a good idea.（良いアイディア）
be動詞の後	He is good at art.（彼は絵がうまい）

～練習問題～

Q1. それぞれの形容詞の意味を選んで答えましょう。

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. red (_____) | 4. happy (_____) |
| 2. high (_____) | 5. popular (_____) |
| 3. new (_____) | 6. difficult (_____) |

人気のある, 難しい, 新しい, 幸せな, 赤い, 高い

Q2. 日本語訳を手がかりに、正しい形容詞を選んで、
文を完成させましょう。

1. That room is _____.
(あの部屋は小さい)
2. John lives in a ____ house.
(ジョンは大きな家に住んでいる)
3. Susan has ____ hair.
(スーザンは黒髪をしている)
4. Tell me the ____ reason.
(本当の理由を言いなさい)
5. He is _____.
(彼は頭が良い)

black, real, small, large, smart

\解答はこちら／

Q1.

1. red (赤い)
2. high (高い)
3. new (新しい)
4. happy (幸せな)
5. popular (人気のある)
6. difficult (難しい)

Q2.

1. That room is **small**.
(あの部屋は小さい)
2. John lives in a **large** house.
(ジョンは大きな家に住んでいる)
3. Susan has **black** hair.
(スーザンは黒髪をしている)
4. Tell me the **real** reason.
(本当の理由を言いなさい)
5. He is **smart**.
(彼は頭が良い)

Unit16. 副詞

副詞とは、動詞、形容詞、そして他の副詞などに意味を付け加える語です。例えば、very happy（とても幸せな）は、副詞 very（とても）が形容詞 happy（幸せな）を強調しています。

副詞の多くは、形容詞の語尾に -ly をつけた形になります。例えば、形容詞 beautiful（美しい）に -ly をつけると、副詞 beautifully（美しく）ができます。

*副詞の使い方

動詞+副詞	Mary smiled happily . (メアリーは幸せそうに笑った)
副詞+形容詞	He is a very good singer. (彼はとても良い歌手です)
副詞+副詞	She spoke extremely quickly. (彼女はひどく早口にしゃべった)
副詞	Luckily , the rain has stopped. (幸運なことに雨が上がりました)

～練習問題～

Q1. それぞれの副詞の意味を選んで答えましょう。

- | | |
|------------|--------------|
| 1. almost | 4. abroad |
| 2. usually | 5. clearly |
| 3. simply | 6. sometimes |

外国で, ほとんど, 単純に, 明らかに, たいてい, 時々

Q2. 日本語訳を手がかりに、正しい副詞を選んで、
文を完成させましょう。

1. The train ___ leaves on time.
(その電車はいつも時間通りに発車する)
2. Thank you ___ much.
(ありがとうございます)
3. Ken spoke ___.
(ケンは悲しげに話した)
4. I've lived ___ for five years.
(私はここに5年間住んでいます)
5. I've ___ been to London.
(ロンドンに行ったことがありません)

always, very, sadly, here, never

\解答はこちら／

Q1.

1. almost (ほとんど)
2. usually (たいてい)
3. simply (単純に)
4. abroad (外国で)
5. clearly (明らかに)
6. sometimes (時々)

Q2.

1. The train **always** leaves on time.
(その電車はいつも時間通りに発車する)
2. Thank you **very** much.
(ありがとうございます)
3. Ken spoke **sadly**.
(ケンは悲しげに話した)
4. I've lived **here** for five years.
(私はここに5年間住んでいます)
5. I've **never** been to London.
(ロンドンに行ったことがありません)

Unit17. 比較構文

英語では、「AはBより大きい」のように、複数の物事を特定の基準で比較することがあります。このような文を比較構文と呼びます。

比較構文は形容詞（あるいは副詞）の語尾に **-er** をつけるか、語の前に **more** をつけます。**-er** や **more** をつける前の形を「原級」、つけたあとの形を「比較級」と言います。

*比較級の作り方

原級	比較級
tall	taller
beautiful	more beautiful

また、「CはもっともXだ」のように、程度が最大（あるいは最小のもの）を最上級と呼びます。最上級をつくるには、形容詞（あるいは副詞）の語尾に **-est** をつけるか、語の前に **most** をつけます。

*最上級の作り方

原級	最上級
tall	tallest
beautiful	most beautiful

～練習問題～

Q1. 次の語を比較級、または最上級に変化させましょう。

1. high – _____ – highest
2. cheap – cheaper – _____
3. careful – _____ – most careful
4. famous – _____ – _____

Q2. 日本語訳を手がかりに、文に適切な語を入れましょう。
語は比較級、または最上級に変化させてください。

1. Susan is _____ than Bob.
(スーザンはボブより年上です)
2. The train arrived two minutes _____ than usual.
(電車はいつもより2分早く到着した)
3. Smith is the _____ of all the students.
(スミスは全生徒の中でもっとも年少です)

early, old, young

\解答はこちら／

Q1.

1. high – higher – highest
2. cheap – cheaper – cheapest
3. careful – more careful – most careful
4. famous – more famous – most famous

Q2.

1. Susan is **older** than Bob.
(スーザンはボブより年上です)
2. The train arrived two minutes **earlier** than usual.
(電車はいつもより2分早く到着した)
3. Smith is the **youngest** of all the students.
(スミスは全生徒の中でもっとも年少です)

Day7

前置詞, 接続詞, 関係代名詞で
より濃い文を作る!



Unit18. 前置詞

前置詞とは、at、on、in などに代表される語のことを言います。前置詞は時や場所などの情報を付け加える働きを持ちます。atは <点> のイメージがあるので、時刻や地点など、点で捉えられる場合に使います。onは <面> のイメージがあるので、曜日や接地している状態など、点よりは広めの場合に使います。inは <空間> のイメージがあるので、月や年、空間など、より広めの場合に使います。

(前置詞は他にも、to、for、from、over などがあります。)

*時をあらわす前置詞

前置詞	例
時刻など	at 7:00 (7時に)
曜日など	on Sunday (日曜日に)
月や年など	in April (4月に), in 2030 (2030年に)

*場所をあらわす前置詞

前置詞	例
地点	at a supermarket (スーパーで)
接地している状態	on the wall (壁に)
空間の中	in a box (箱の中に)

～練習問題～

Q1. 空白に適した前置詞を選んで入れましょう。

1. ___ Thursday
2. ___ September
3. ___ 11:30
4. ___ January 24
5. ___ night

at, on, in

Q2. 日本語訳を手がかりに、空白に適した前置詞を選んで入れましょう。

1. There is a picture ___ the wall.
(壁に絵が掛かっています)
2. They were playing ___ the street.
(彼らは公園で遊んでいた)
3. I got up ___ 9 o'clock in the morning.
(今朝、9時に起きた)
4. We used to go fishing ___ summer.
(我々は夏に釣りにいったもんだ)

at, on, in

＼解答はこちら／

Q1.

1. on Thursday
2. in September
3. at 11:30
4. on January 24
5. at night

Q2.

1. There is a picture **on** the wall.
(壁に絵が掛かっています)
2. They were playing **in** the park.
(彼らは公園で遊んでいた)
3. I got up **at** 9 o'clock in the morning.
(今朝、9時に起きた)
4. We used to go fishing **in** summer.
(我々は夏に釣りにいったもんだ)

Unit19. 接続詞

接続詞とは、ある要素と別の要素をつなげる際に使う語です。接続詞にはand (...と)、but (しかし)、or (または)、さらには when (...する時に)、if (もし...ならば)、because (...なので) などがあります。

*接続詞の種類1

接続詞	使い方
and (...と)	you and I (あなたとわたし)
but (しかし)	I tried hard but failed. (一所懸命やったが失敗した)
or (または)	coffee or tea (コーヒーまたは紅茶)

*接続詞の種類2

接続詞	使い方
when (...する時に)	I lived in Canada when I was young. (若い頃、カナダに住んでいた)
if (もし...ならば)	If you have any questions, please let me know. (もし質問があれば、教えて下さい)
because (...なので)	I was absent because I was ill. (病気だったので欠席しました)

～練習問題～

Q1. 次の接続詞の意味を選んで答えましょう。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. but (___) | 4. because (___) |
| 2. or (___) | 5. and (___) |
| 3. when (___) | 6. if (___) |

...と, しかし, または, ...する時に, もし...ならば, ...なので

Q2. 日本語訳を手がかりに、文意に合う接続詞を選んで入れましょう。

1. My brother ___ I lived together for two years.
(弟と私は2年間、一緒に住んでいた)
2. I already knew this ___ my wife had told me.
(妻が言ってくれたので、これについて既に知っていました)
3. ___ you don't mind, I'll go with you.
(もしお気になさらなければ、一緒に行きますよ)
4. Would you like milk ___ cream in your coffee?
(コーヒーにミルクかクリームはいかがですか)

or, and, if, because

\解答はこちら／

Q1.

1. but (しかし)
2. or (または)
3. when (...する時に)
4. because (...なので)
5. and (...と)
6. if (もし...ならば)

Q2.

1. My brother **and** I lived together for two years.
(弟と私は2年間、一緒に住んでいた)
2. I already knew this **because** my wife had told me.
(妻が言ってくれたので、これについて既に知っていました)
3. **If** you don't mind, I'll go with you.
(もしお気になさらなければ、一緒に行きますよ)
4. Would you like milk **or** cream in your coffee?
(コーヒーにミルクかクリームはいかがですか)

Unit20. 関係代名詞

関係代名詞は、who、which、that などに代表される語です。節を結びつけつつ、名詞の代わりとして使われます。

* 関係代名詞の使い方

	人が先行詞	物が先行詞
主格	who, that	which, that

(本稿で紹介するのは「主格」と呼ばれる用法です。
関係代名詞は他にも、目的格や所有格の使い方があります。)

次の例を見てみましょう。

I have a friend who speaks French.
(私にはフランス語を話す友人がいます)

ここでは、I have a friend (友人がいる) の箇所に、who speaks French (フランス語を話す) が続いています。

who は 後半の箇所をつなげるのと同時に、speaks French の主語になっています。

先ほどの例文は、2つの文に分かれており、それを who によってくっつけたと言えます。英文を分解すると、次のようになります。

I have a friend. (私には友人がいます)

He/She speaks French. (彼／彼女はフランス語を話します)

→ I have a friend who speaks French.
(私にはフランス語を話す友人がいます)

この時、a friend のことを先行詞と呼びます。関係代名詞は、先行詞の種類によって、異なるものを使います。

～練習問題～

Q. 空白に適した関係代名詞（which または who）を入れて、文を完成させましょう。

1. I met a lady ___ lives in Kyoto.
(京都に住んでいる女性に会った)
2. I've written a book ___ is about social media.
(ソーシャルメディアに関する本を書きました)

\解答はこちら／

Q1.

1. I met a lady **who** lives in Kyoto.
(京都に住んでいる女性に会った)
2. I've written a book **which** is about social media.
(ソーシャルメディアに関する本を書きました)